

最新のICT機器やシステムを完備し、
インパクトを与える新しい教室「Future Lab」の構築により、
探究活動やアクティブ・ラーニングの充実を図る。



学校法人 郁文館夢学園 様

導入内容

SmartInfill・codemari・wivia・デジタル顕微鏡・遠隔授業支援システム・
ワークテーブルcommune・ミーティングチェア・SurfaceStudio・3Dプリンター他

導入の背景とポイント

ICT機器完備の特別教室で、
科学と人間のあるべき姿の構築を
追究できる国際人を育てる

令和元年に創立130年を迎えた郁文館夢学園様。「人間力」「学力」「グローバル力」の3つの力を向上させる教育システム「夢教育」を推進、「人生の主人公として輝いている人材」の育成に取り組んでいます。

情報を自ら得て深く考え、社会と関わり行動するアクティブ・ラーニングに力を入れているほか、グローバル社会において逞しく活躍できる“生きる力”“タフネスさ”

を身に付けることが求められる現代にあつて、各学年における多彩なプログラムを展開しています。平成30年度にはグローバル高等学校に自然科学・情報科学の領域を育成する「Global Science Track」を新たに設置。テクノロジーが劇的に変化する中、豊かな社会の実現を目指し、科学と人間のあるべき姿の構築を追究できる国際人を育成しています。

そんな郁文館夢学園様の教育方針を形にしたのが、新たに設置された「Future Lab(フューチャーラボ)」。最新のテクノロジーやICT機器を完備し、「探求活動」「グループワーク」「アクティブ・ラーニング」「サイエンス」の観点で日々の様々な授業が展開できる特別教室です。



デジタル顕微鏡を用いたサイエンスの授業



様々な授業形態にフレキシブルに対応できる机・椅子で
アクティブ・ラーニング教室を実現

Future Lab
(フューチャーラボ)

■ 施設の特長

「グローバルマインド+理数的問題発見・解決力」を養うFuture Lab

Future Labに入るとまず目に入るのが左右の壁一面に設置された大型スクリーンと、ユニットから吊られているプロジェクター。建築躯体に手を加えることなくICT空間を容易に構築できるシステムユニット「SmartInfill」を採用し、壁全体への投影を可能としています。また簡単に画面共有を実現するネットワーク機器「wivia」や、プロジェクターやAV機器、LED照明をタブレットPCで直感的に操作できる「codemari」など、先生・生徒による自由なコンテンツ投影をICT環境面で支えています。さらに机・椅子には可動しやすい「commune」を採用し、様々な授業形態にフレキシブルに対応できるようになっています。生徒たちは自身のPC端末を使用して探求を行い、それをグループでディスカッション、さらに大きなスクリーンを用いてプレゼンテーションを行うなど、アクティブ・ラーニングを実現する教室空間となっています。



コンテンツを大型スクリーンに自由に投影して発表を行う

このFuture Labで行われるサイエンスの授業では、デジタル顕微鏡など最新のテクノロジーが盛り込まれた実験器具を完備。これまで一人で行われることが多かった顕微鏡観察をグループ、そしてクラス全体で共有しながら行うことで、対話的で深い学びを実現します。さらに海外にも接続できる遠隔授業支援システムを利用することで、壁一面のスクリーンに海外の教室と、そこで学ぶ外国人の生徒を等身大で映し出し、海外の学校との遠隔授業も行える空間となっています。これからの時代に確実に求められる「グローバルマインド+理数的問題発見・解決力」を養う教室として、同校を象徴する教室となっています。

■ 担当者の声・今後の展開

テクノロジーの発展に合わせて、さらなる設備の充実を

Future Labを構築したねらいを、「目まぐるしく進化するテクノロジーに触れて、生徒たちの変化に対応する能力や未知の世界に飛び込める能力を育むこと」と語る木村和貴教頭。「生徒をテクノロジー音痴にしたくない」という想いから、Future Labに必要な様々なICT機器やソフトウェア、空間設計や設置する什器に至るまでを細部まで検討されてきました。その想いを受け、生徒たちは最新のICT機器やテクノロジーに触れる中で日々変化しており、今では文房具のようにICT機器を使いこなすなど、情報活用能力が育成されていることも見てとれます。また生徒の成長はICTを活用する力のみにとどまらず、Future LabのICT機器を利用した自主的な活動を申し出る生徒が現れるなど、同校が目指す「主体的に生き抜く力」「未来を切り拓くことができる力」の醸成にも、Future Labは既に効果を発揮し始めているようです。

学園を象徴する教室として、進学を検討する生徒や保護者に向けた学校説明会の場としても活用されるほどにまでなったFuture Lab—しかし「Future Labはまだ発展途上。テクノロジーの発展に合わせて設備を充実させていきたい」と語る木村教頭。今後は現在導入されている3Dプリンターのさらなる増設や、VRをはじめとする新たなICTテクノロジーの導入など、今のFuture Labを基盤に、さらなる拡充を検討しています。

郁文館夢学園様の校是である「生徒たちに夢を持たせ 夢を追わせ 夢を叶えさせる」教室の一つとして、Future Labはこれからも最新テクノロジーに触れられる場所であり続けます。



学校法人郁文館夢学園

所在地
〒113-0023
東京都文京区向丘2-19-1

ウェブサイト
<https://www.ikubunkan.ed.jp/index.html>



「いい学校・いい教育・いい授業づくり」を支援します。

www.uchida.co.jp/education

内田洋行

東京 〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25

☎ 03(5634)6402

大阪 〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2

☎ 06(6920)2632

- 本カタログの内容は2019年10月現在のものです。
- 記載の会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。
- 記載されている内容については、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。